

医療法人 山紀会  
介護老人保健施設 やまき苑

異業種連携!?  
メーカーと取り組む排泄ケアと在宅支援

> 課題

職員によって排泄ケアに対する考え方や能力にばらつきがある。  
ご利用者様が在宅復帰後も安心して過ごせるように、在宅でも通用する排泄  
ケアを行うことはできないか?



2017年7月  
施設内研修

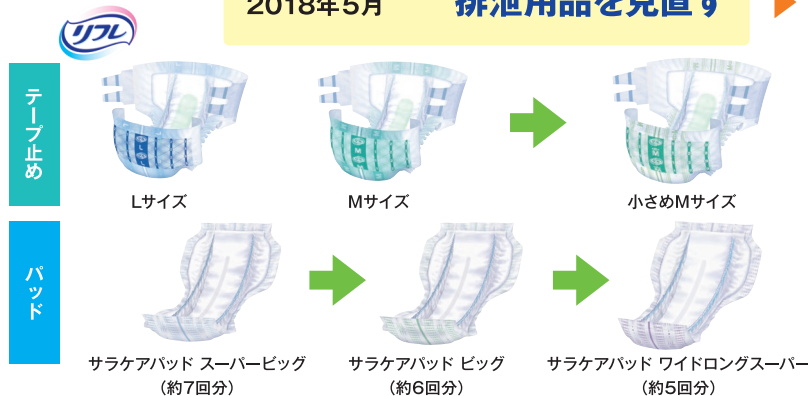
適切なおむつの  
装着方法を学ぶ

リフレサポーターによる研修を通して、普段ご利用者様に行っているあて方では動きにくく、不快感があることを実感。介護職員の意識改革となった。

2018年5月

排泄用品を見直す

“大は小を兼ねない”



少し大きめを選んでいてテープ止めタイプは、高齢者の身体に合いやすい小さめMサイズを採用。

吸収量よりも大切なのはあて方であるということを知り、パッドサイズを段階的に小さくしていった。

おむつがうすいことによる、**1. あてやすさ** **2. ご利用者様の不快感の低減**を実感!



スマートイン(パンツタイプ)の導入  
・うすくてあてやすい  
・はきごこちが良く、動きを制限しないためハビリに適合している。  
・大型パッドが入るため、テープ止めタイプから移行しやすい。

2018年6月 在宅ケアマネと共に学ぶ

おむつの選び方、正しいあて方が分からず苦勞していた在宅ケアマネに対して、スマートインを提案している。今後は施設内でテープ止めタイプからスマートインへ移行し、そのまま在宅復帰へつなげていけるよう取り組みを始めている。



在宅ケアマネ

在宅でもスマートインはうすくて動きやすいと好評いただいています!

INTERVIEW 発表後のインタビュー



在宅ケアマネと共に学ぶ機会を持てたのは、有意義だったのではないですか?

「せっかく在宅復帰ができて、排泄介助がきちんと行われなければそれはご利用者様にとって負担でしかありません。おむつの見直しで、私たちが排泄介助に自信を持てたからこそ、その情報を在宅ケアマネと共有したいと思いました。それが在宅復帰支援を行う老健の役割だと思っています。これからスマートインも積極的に採用していきたいと考えています!」